

2 総務部

事業	201	事業名	職員定数の見直し	重点管理
----	-----	-----	----------	------

	203101	(部課コード)	203																																							
	職員定数の見直し	部課係名	総務部 職員課(局・室)																																							
の掲載	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	記入者名	山口 忠嗣 内2237																																							
計画体系	第8部第2・2-(3)-	歳出科目	一般会計 款:総務費 項:総務管理費																																							
	職員定数の見直し	(款・項・目・事項)	目:一般管理費 事項:職員人件費その他																																							
画体系	第 部第 ・ -()-	補助区分	<input type="checkbox"/> 国補助 <input type="checkbox"/> 都補助 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独																																							
画事業名		関連計画	行財政システム改革大綱																																							
目的<対象(何を、誰を対象に) 意図(対象をどういう状態にしたいのか)> (対象) 市の全組織 (意図) 行財政システム改革大綱・実施方針に基づき、職員定数を見直すことにより行政改革を推進し、より効率的な行政運営に資する。																																										
事業の概要・期間 <input type="checkbox"/> 単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 複数年(始期: 13年度 ~ 終期: 18年度) 行財政システム改革大綱・実施方針に基づき、平成18年度当初の段階において計画段階と比較して、職員定数120人の見直しを行う。 当該事務に従事する実質職員数 1.0人																																										
今年度の事業・業務量の説明 学校職場の給食調理・一般用務及び一般事務の嘱託化等による見直しの他、この他定年退職者の再任用化による見直しなどを予定している。																																										
今年度のまちづくり指標の説明 平成18年度当初において、計画当初の段階から職員定数120人の見直しを行う。 今後「市民満足度」を評価するため、別途調査等を行う必要があるまちづくり指標																																										
他団体の先進的な取り組み成果・参考実績値																																										
年度別明細	H13年度	H14年度事前	H14年度達成																																							
事業・業務量	定数見直し38人	定数見直し22人	定数見直し22人																																							
まちづくり指標																																										
行政指標	計画当初からの定数見直し	計画当初からの定数見直し	定数見直し																																							
協働指標	延べ38人	延べ60人	延べ60人																																							
予算額(千円)																																										
決算額(千円)																																										
執行率(%)																																										
年間の実施スケジュール <table border="1"> <tr> <td></td> <td>4月</td> <td>5月</td> <td>6月</td> <td>7月</td> <td>8月</td> <td>9月</td> <td>10月</td> <td>11月</td> <td>12月</td> <td>1月</td> <td>2月</td> <td>3月</td> </tr> <tr> <td>当初計画</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>各課ヒアリング</td> <td></td> <td></td> <td>定数見直し</td> </tr> <tr> <td>結果</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td colspan="4">当初計画のとおり実施</td> </tr> </table>					4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	当初計画									各課ヒアリング			定数見直し	結果									当初計画のとおり実施			
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月																														
当初計画									各課ヒアリング			定数見直し																														
結果									当初計画のとおり実施																																	
変更計画の説明																																										
事後評価	主管課事後評価 進捗状況評価(計画どおり<計画以上進捗を含む>・ほぼ計画どおり・計画どおり進んでいない) 1 理由:計画年次3年目における定数見直し数は92人、達成率は76.6%に達しており、目標である同72人、60%を大きく上回る実績となっている。																																									
	成果に対する評価(大・中・小又はなし) 1 理由:定数見直しにより、ポスト数について、平成12年度当初1,238が平成15年度当初に1,146となり、着実な成果を上げている。																																									
	効率性・経済性に対する評価(高・中・低) 1 理由:見直し数に応じた人件費が節減され、大きな経済的効果をあげている。																																									
	総合評価 計画年次ごとに順調に定数見直しを実施しており、目標達成はほぼ確実と思われる。																																									
	事業事前審査会事後評価 進捗状況評価(計画どおり<計画以上進捗を含む>・ほぼ計画どおり・計画どおり進んでいない) 1 理由: 成果に対する評価(大・中・小又はなし) 1 理由: 効率性・経済性に対する評価(高・中・低) 1 理由: 総合評価 当初計画どおりの進展が図られている。																																									

事業	202	事業名	人材育成基本方針の策定	重点管理
----	-----	-----	-------------	------

コード)	203102	(部課コード)	203
象事業名	人材育成基本方針の策定	部課係名	総務部 職員課(局・室)
画の掲載	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <small>231ページ掲載</small>	記入者名	山口 忠嗣 内2237
系	第8部第2・2-(2)-	8200221	歳出科目
業名	キャリア・開発・ロップメント・プログラムの導入	(款・項・目・事項)	一般会計 款:総務費 項:総務管理費 目:一般管理費 事項:職員研修費
系	第 部第 . -()-	補助区分	<input type="checkbox"/> 国補助 <input type="checkbox"/> 都補助 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独
業名		関連計画	

目的< 対象(何を、誰を対象に) 意図(対象をどういう状態にしたいのか)>

対象)
市の一般職職員

意図)
職員個人個人の長期的・体系的な人材育成プログラムを作成し、組織にとって効率的で有用な人材の確保・活用を図る。

概要・期間 単年度 複数年(始期: 15年度 ~ 終期: 継続実施)

人材育成の中・長期的な目標として、市が推進しようとする施策を、より効率的・効果的に実施し得る職員を育成していくための体系的プログラムを策定し、導入する。

当該事務に従事する実質職員数 1.0人

今年度の事業・業務量の説明

人材育成基本方針(仮称)の一環として、アンケート調査等の調査及び制度研究から設計を経て、導入を行う。

のまちづくり指標の説明

平成13年度実施の人事考課制度の一環として、自己申告シートによる資格調査を実施した。平成14年度については、こうした資格等の有効活用を含め、システムの策定を行う。

今後「市民満足度」を評価するため、別途調査等を行う必要があるまちづくり指標
の先進的な取り組み成果・参考実績値

	H12年度	H13年度	H14年度事前	H14年度達成
事業・業務量		制度研究 資格調査	策定及び既存体系による運用	職員アンケートの実施・基本方針への反映
まちづくり指標 行政指標 協働指標		自己申告シートによる職員の資格調査実施	策定及び既存体系による運用	策定作業の継続及び既存体系による運用
予算額(千円)		0	0	0
決算額(千円)				
執行率(%)				

間の実施スケジュール

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
初	資計 格画 調策 査定					骨格確定				職員アンケート実施			策定 →
	資計 格画 調策 査定					骨格確定				職員アンケート実施		策定作業の継続 →	

画の説明

事業	202	事業名	人材育成基本方針の策定	重点管理
----	-----	-----	-------------	------

(事業コード)	203102	(部課コード)	203	
評価対象事業名	人材育成基本方針の策定	部課係名	総務部 職員課(局・室)	
事後評価	主管課事後評価			
	進捗状況評価(計画どおり<計画以上進捗を含む>・ほぼ計画どおり・計画どおり進んでいない)		2	
	理由・平成14年度において全職員の7割の職員を対象にアンケートを実施し、その結果について人材育成基本方針に対し反映させる段階に至っている。今後は研修委員会等に諮りながら早急に策定作業を進めていく。			
	成果に対する評価(大・中・小又はなし)		1	
	理由・職員アンケートは多面的な結果が得られ、人材育成基本方針策定に対する重要な資料となった。			
	効率性・経済性に対する評価(高・中・低)		1	
	理由・同程度の内容のアンケートと比較するとかなり廉価であり、かつ、分析結果及び報告内容も良好であった。			
	総合評価			
	職員意識についてかなり詳細な内容把握ができ、有効なアンケート結果を得られた。この内容を反映させて基本方針の策定を最優先に進めている。			
	事業事前審査会事後評価			
進捗状況評価(計画どおり<計画以上進捗を含む>・ほぼ計画どおり・計画どおり進んでいない)				
理由・本来の策定目標である平成12年度から大幅に遅れている。				
成果に対する評価(大・中・小又はなし)				
理由・職員アンケートの調査結果を分かりやすく分析・整理し、それを庁内で共有するとともに、調査結果がどのように人材育成基本方針に反映するのかを明示する必要がある。				
効率性・経済性に対する評価(高・中・低)				
理由・				
総合評価	人材育成基本方針の策定にあたっては、経営品質評価の人材育成の考え方の反映も十分検討する必要がある。			

事業	203	事業名	市民センター駐車場管制機器設置	重点管理
----	-----	-----	-----------------	------

	204103	(部課コード)	204
評価対象事業名	市民センター駐車場管制機器設置	部課係名	総務部 管財課(局・室)
本計画の掲載	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	記入者名	横山 哲 内2253
計画体系	第8部第2・2-(0)-200 8200000	歳出科目	一般会計 款:2 総務費 項:1 総務管理費
画事業名	市民センター駐車場管制機器設置	(款・項・目・事項)	目:11一般管理費 事項:1市民センター管理運営費
系	第 部第 ・ -()-	補助区分	<input type="checkbox"/> 国補助 <input type="checkbox"/> 都補助 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独
業名		関連計画	
系	第 部第 ・ -()-	関係法規	庁舎管理規則 三鷹市行政財産使用料条例
業名			
業の目的<対象(何を、誰を対象に) 意図(対象をどういう状態にしたいのか)> 対象) 来庁者及び公会堂・体育館・福祉会館利用者 (意図) 市民センター駐車場の適正な利用・管理を図る。			
事業の概要・期間 <input checked="" type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 複数年度(始期: 14年度 ~ 終期: 14年度) 平成14年10月を以て市民センター内に駐車場管制機器の設置を行う。現在、市民センター内には指定車両を除き113台分駐車スペースがあるが、現状では近隣店舗への買物客や通勤者が無断で駐車しているケースもあり、混雑時には通路まで利用せざるを得ない状況にある。又、今秋開店予定の大型店舗利用者も含め無断駐車防止を図る。 当該事務に従事する実質職員数 1.0人			
今年度の事業・業務量の説明 今年度10月を以て市民センター内に駐車場管制機器の設置を行う。 庁舎正面バス停裏・庁舎東側及び第二庁舎と第三庁舎の間、計3台設置			
今年度のまちづくり指標の説明 無断駐車防止を図る。			
今後「市民満足度」を評価するため、別途調査等を行う必要があるまちづくり指標			
他団体の先進的な取り組み成果・参考実績値			

事業	203	事業名	市民センター駐車場管制機器設置	重点管理
----	-----	-----	-----------------	------

業コード)	204103(部課コード)			204
対象事業名	市民センター駐車場管制機器設置		部課係名	総務部 管財課(局・室)
年度別明細	H12年度	H13年度	H14年度事前	H14年度達成
事業・業務量			工事実施	駐車場管制機器設置終了。15年1月から本格稼動。
まちづくり指標 行政指標 協働指標			無断駐車防止	無断駐車及び長期駐車減少。
予算額(千円)			3,691	3,691
決算額(千円)				3,286
執行率(%)				89.0

年間の実施スケジュール												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
当初計画			関連課打合せ	発注	配管・配電	機器設置 試運転	オ-ブン					
結果					入札	機器設置 試運転 使用料条例案 提出	オープン	周知期間	本格稼動			

計画の説明 (中間評価時) 使用料条例の改定前にゲ-ト設置の周知期間を2ヶ月間設け平成15年1月から本格実施

<p>主管課事後評価</p> <p>進捗状況評価 (計画どおり<計画以上進捗を含む>・ ほぼ計画どおり・ 計画どおり進んでいない) 理由・予定どおりの推移である。</p> <p>成果に対する評価 (大・中・小又はなし) 理由・無断駐車や長時間に渡る駐車が見られなくなり、順調に回転していると思われる。</p> <p>効率性・経済性に対する評価 (高・中・低) 理由・当初1日当たり1万円の歳入見込みをしていたが、現在は概ね1日2万円の歳入実績である。</p> <p>総合評価 来庁者のための駐車スペースの確保が従前に比べ順調に進んでいることから、機器の設置は駐車場運営に大きな効果があったものと評価する。</p>	<p>1</p> <p>1</p> <p>1</p>
<p>事業事前審査会事後評価</p> <p>進捗状況評価 (計画どおり<計画以上進捗を含む>・ ほぼ計画どおり・ 計画どおり進んでいない) 理由・</p> <p>成果に対する評価 (大・中・小又はなし) 理由・</p> <p>効率性・経済性に対する評価 (高・中・低) 理由・</p> <p>総合評価 今後も実態を十分把握し、引き続き駐車場の適正な利用が図られるよう管理していく必要がある。</p>	<p></p> <p></p> <p></p>

事業	204	事業名	人事考課制度と昇任昇格制度の運用	部内管理
----	-----	-----	------------------	------

(事業コード)	203204	(部課コード)	203
評価対象事業名	人事考課制度と昇任昇格制度の運用	部課係名	総務部 職員課(局・室)
基本計画の掲載	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし 231ページ掲載	記入者名	山口 忠嗣 内2237
計画体系	第8部第2・2-(2)-	歳出科目	一般会計 款:総務費 項:総務管理費
計画事業名	人事考課制度の導入と運用	(款・項・目・事項)	目:一般管理費 事項:職員人事管理費・職員研修費
計画体系	第8部第2・2-(2)-	補助区分	<input type="checkbox"/> 国補助 <input type="checkbox"/> 都補助 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独
計画事業名	昇任選考制度の導入と運用	関連計画	行財政システム改革大綱
計画体系	第 部第 ・ -()-	関係法規	
計画事業名			

事業の目的< 対象(何を、誰を対象に) 意図(対象をどういう状態にしたいのか)>

(対象)

市の一般職職員

(意図)

人事任用制度の中の評価制度として、職員個人個人の職務行動に基づき、客観的な基準による職務評価を行い、人材育成に向けた資料とするとともに、昇任選考制度として、各職層ごとに筆記選考を行い、人事考課制度の結果とあわせて、昇任昇格・特別昇給等の処遇に対する判定指標として活用する。

事業の概要・期間

単年度

複数年度

(始期: 13年度 ~ 終期: 継続実施)

1年間の職員の職務行動に基づき、業績、能力、態度の各要素について、客観的指標に沿って考課することにより、職員個人個人の長所、短所を明確にし、人材育成に役立てるとともに、昇任昇格、特別昇給等の資料とする。また、選考制度では、外注による公平公正な筆記選考を実施し、職員の意識の向上と意欲の醸成を図る。

当該事務に従事する実質職員数

2.0人

今年度の事業・業務量の説明

平成13年度導入の制度であり、2年目に当たる14年度は、前年の実施を踏まえ、制度の見直しを含め、より精度の高い考課制度及び選考制度の確立を図る。

今年度のまちづくり指標の説明

人事考課制度においては、全管理職職員を対象として2回の考課者訓練を実施し、考課に係る客観的指標の共有と考課スキルの向上を図った。14年度についても更なる向上を目指し、考課者訓練を実施する。

今後「市民満足度」を評価するため、別途調査等を行う必要があるまちづくり指標

他団体の先進的な取り組み成果・参考実績値

年度別明細	H12年度	H13年度	H14年度事前	H14年度達成
事業・業務量	制度策定	導入	制度見直し	アンケート調査の実施・制度研究
まちづくり指標 行政指標 協働指標	制度策定	考課者訓練の実施 8h×399人 =3,192h	考課者訓練の実施 8h×398人=3,184h	考課者訓練の実施 8h×398人=3,184h
予算額(千円)		4,587	6,072	6,072
決算額(千円)		4,397		4,047
執行率(%)		95.9%		66.70%

年間の実施スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
当初計画	人事考課制度							考課基準日			考課確定	活用
								考課期間				
結果	昇任選考制度			募集		選考実施	論文選考				結果判定	活用
結果	当初計画のとおり実施											

変更計画の説明

事業	204	事業名	人事考課制度と昇任昇格制度の運用	部内管理
----	-----	-----	------------------	------

(事業コード)	203204	(部課コード)	203
評価対象事業名	人事考課制度と昇任昇格制度の運用	部課係名	総務部 職員課(局・室)
事後評価	主管課事後評価 進捗状況評価(計画どおり<計画以上進捗を含む>・ほぼ計画どおり・計画どおり進んでいない) 1 理由・平成13年度からの導入で2年目を迎え、職員アンケート等をとおり、改善すべき点も明確になってきており、順調な進捗状況である。		
	成果に対する評価(大・中・小又はなし) 1 理由・人事考課結果に基づき、成績特別昇給対象者の決定と昇任昇格選考における総合判断材料として活用しており、その成果は大きい。		
	効率性・経済性に対する評価(高・中・低) 2 理由・人事考課を行うにあたって、全庁的に相当量の作業が必要であり、より簡潔で効果的な人事考課制度に向けた改善が必要である。		
	総合評価 公平・公正な人事施策のために、必要不可欠な制度としてその機能を果たしているが、より効率的な運用のために、更なる改善も必要である。		
	事業事前審査会事後評価 進捗状況評価(計画どおり<計画以上進捗を含む>・ほぼ計画どおり・計画どおり進んでいない) 理由・		
評価	成果に対する評価(大・中・小又はなし) 理由・制度導入の2年目として、どのような制度改善を行ったのか明確にするとともに、考課に係る客観的指標の共有化と考課スキル向上の成果を明らかにすることが望ましい。		
	効率性・経済性に対する評価(高・中・低) 理由・		
	総合評価 一定の時期に人事考課制度の見直しを行い、考課ポイントとして、業務に対する改善意欲など「挑戦加点」を加えることを検討するべきである。また定期的に職員満足度を把握する仕組みの確立を検討することが望ましい。		

事業	205	事業名	自主防災組織の活性化と地域の防災化施策の実施事業	部内管理
----	-----	-----	--------------------------	------

(事業コード)	205205	(部課コード)	205
評価対象事業名	自主防災組織の活性化と地域の防災化施策の実施事業	部課係名	総務部 防災課(局・室)
基本計画の掲載	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし 130ページ掲載	記入者名	大倉 誠 内線2283
計画体系	第3部第4・4-(1)-1 3400411	歳出科目	一般会計 款:9 項:1
計画事業名	自主防災組織の活性化と地域の防災化施策の実施事業	(款・項・目・事項)	目:4 事項:2・3・6
計画体系	第 部第 . -()-	補助区分	<input type="checkbox"/> 国補助 <input type="checkbox"/> 都補助 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独
計画事業名		関連計画	三鷹市地域防災計画
計画体系	第 部第 . -()-	関係法規	
計画事業名			
事業の目的<対象(何を、誰を対象に) 意図(対象をどういう状態にしたいのか)> (対象) 三鷹市民・三鷹市全域 (意図) 自主防災組織を中心に、大地震等の災害発生時に、その被害を最小限にとどめていきたい。			
事業の概要・期間 <input type="checkbox"/> 単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 複数年 始期: 2002年度 ~ 終期: 2010年度) 「自分たちのまちは自分たちで守る」ことをテーマに活動している自主防災組織について、加入世帯の増加や防災リーダーの育成などにより組織強化に向けた支援を行うとともに、地域との連携によりよりきめ細かな防災活動のできる実践的な活動態勢が組めるよう努めるほか、地域の実情に応じたより効果的な防災施策を実現するなど防災コミュニティの醸成を図る。 当該事務に従事する実質職員数 0.7人			
今年度の事業・業務量の説明 自主防災組織連絡会3回開催。防災リーダー研修1回開催。可搬ポンプ1台配備。総合防災訓練1回実施。			
今年度のまちづくり指標の説明 自主防災組織が中心に企画・運営を行っている総合防災訓練の参加者数は、自主防災組織と地域の防災活動の集大成として実施されることから、標記事業の協働指標とすることとし、目標を前年参加者数の5%増とする。 今後「市民満足度」を評価するため、別途調査等を行う必要があるまちづくり指標			
他団体の先進的な取り組み成果・参考実績値			

事業	205	事業名	自主防災組織の活性化と地域の防災化施策の実施事業	部内管理
----	-----	-----	--------------------------	------

(事業コード)	205205 (部課コード)			205
評価対象事業名	自主防災組織の活性化と地域の防災化施策の実施事業		部課係名	総務部 防災課(局・室)
年度別明細	H12年度	H13年度	H14年度事前	H14年度達成
事業・業務量		連絡会3回開催、リーダー研修1回開催、総合防災訓練1回実施	連絡会3回開催、リーダー研修1回開催、総合防災訓練1回実施、可搬ポンプ1台配備	連絡会3回開催、リーダー研修1回開催、総合防災訓練1回実施、可搬ポンプ1台配備
まちづくり指標 行政指標 協働指標	総合防災訓練参加者数16,341人	総合防災訓練参加者数18,319人	総合防災訓練参加者数5%増	総合防災訓練参加者数17,159人
予算額(千円)	7,252	7,455	8,573	8,560
決算額(千円)	6,417	6,586		7,611
執行率(%)	88.50%	88.30%		88.9%

年間の実施スケジュール													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
当初計画			連絡会		総合防災訓練準備 可搬ポンプ配備	総合防災訓練実施		連絡会			リーダー研修	連絡会	
結果			連絡会		総合防災訓練準備 可搬ポンプ配備	総合防災訓練実施		連絡会			連絡会	リーダー研修	

変更計画の説明
研修先機関の都合による予定変更

事後評価	主管課事後評価	
	進捗状況評価 (計画どおり<計画以上進捗を含む>・ほぼ計画どおり・計画どおり進んでいない)	1
	理由	予定どおりの事業が実施できた。
	成果に対する評価 (大・中・小又はなし)	2
	理由	総合防災訓練等の事業の実施により、災害医療への取り組みなど自主防災組織を中心とする地域の防災化施策に前進があったが、訓練参加者数が目標値に達しなかった。
	効率性・経済性に対する評価 (高・中・低)	2
理由	総合防災訓練日が日曜に集中したため、資機材等が一部不足し、やや訓練効率が悪かったところもあった。	
総合評価	例年に比べ、医師会などの関係機関が積極的に訓練に参加したので、自主防災組織を中心とする地域の訓練に新たな取り組みが生まれるなどの成果が得られたことは大きな収穫であった。今後も、訓練参加者に参加成果が得られる訓練を実施する必要がある。	
事業事前審査会事後評価	進捗状況評価 (計画どおり<計画以上進捗を含む>・ほぼ計画どおり・計画どおり進んでいない)	
	理由	
	成果に対する評価 (大・中・小又はなし)	
	理由	
効率性・経済性に対する評価 (高・中・低)		
理由		
総合評価	14年度の実績を踏まえて、15年度の目標を再検討する必要がある。また、可搬ポンプ配備の基準・方針について、より明確にすることが望ましい。	

事業	206	事業名	関係機関、民間企業との連携	部内管理
----	-----	-----	---------------	------

(事業コード)	205206	(部課コード)	205
評価対象事業名	関係機関、民間企業との連携	部課係名	総務部 防災課(局・室)
基本計画の掲載	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし 130ページ掲載	記入者名	大倉 誠 内線2283
計画体系	第3部第4・4-(2)-1 3400421	歳出科目	一般会計 款:9 項:1
計画事業名	関係機関、民間企業との連携	(款・項・目・事項)	目:4 事項:6
計画体系	第 部第 . -()-	補助区分	<input type="checkbox"/> 国補助 <input type="checkbox"/> 都補助 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独
計画事業名		関連計画	三鷹市地域防災計画
計画体系	第 部第 . -()-	関係法規	
計画事業名			

事業の目的< 対象(何を、誰を対象に) 意図(対象をどういう状態にしたいのか)>
 (対象)
 防災関係機関、民間企業
 (意図)
 大地震等災害発生時に、市の災害対策に協力してもらう。

事業の概要・期間 単年度 複数年(始期: 2002年度 ~ 終期: 2010年度)
 被害を最小限に抑えるため、災害時の心算対策を迅速に行うには、関係機関や民間企業との日頃からのパートナーシップの構築が不可欠であることから、災害時応援協定の締結などにより日頃からの備えや災害時の役割分担について取り決め、協力を求めるとともに、応援協定に基づく各種訓練の実施などを通じて、災害時にそれぞれが最大限に機能できるように連携を深める。

当該事務に従事する実質職員数 0.5人

今年度の事業・業務量の説明
 関係機関及び民間企業との協定等締結のための検討会を1団体あたり3回以上開催するとともに、既に協定等を締結している団体の総合防災訓練への参加協力を得る

今年度のまちづくり指標の説明
 関係機関または民間企業との協定等を新たに2団体と締結するとともに、総合防災訓練への参加協力団体を昨年より2団体増とすることを協働指標とする。

今後「市民満足度」を評価するため、別途調査を行う必要があるまちづくり指標

他団体の先進的な取り組み成果・参考実績値

年度別明細	H12年度	H13年度	H14年度事前	H14年度達成
事業・業務量		協定締結のための検討会7回。総合防災訓練への参加検討会5回	協定締結のための検討会3回以上、総合防災訓練参加への働きかけ	協定締結のための検討会、打ち合わせ会15回。総合防災訓練参加への働きかけ
まちづくり指標	新規協定締結団体1団体(三電会)	新規協定締結団体2団体(明星学園・龍野市) 総合防災訓練参加団体 5団体	新たに2団体との協定等締結及び7団体の総合防災訓練への参加協力	新たに6団体との協定等締結及び新たに2団体の総合防災訓練への参加実現
行政指標	総合防災訓練参加団体 6団体			
協働指標				
予算額(千円)	330	375	420	420
決算額(千円)	330	330		420
執行率(%)	100.00%	88.00%		100%

年間の実施スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
当初計画	協定等締結の検討				協定等締結	総合防災訓練						
結果	協定締結(歯科医師会)					総合防災訓練		協定締結(富士重工) (日本無線) (トラック協会)		協定締結(薬剤師会)		
			総合防災訓練への参加協力依頼									

変更計画の説明

協定締結依頼を行った団体が協力的であり、予定より早い時期に協定締結が実現した。

事業	206	事業名	関係機関、民間企業との連携	部内管理
----	-----	-----	---------------	------

(事業コード)	205206	(部課コード)	205	
評価対象事業名	関係機関、民間企業との連携	部課係名	総務部 防災課(局・室)	
事後評価	主管課事後評価 進捗状況評価(計画どおり<計画以上進捗を含む>・ほぼ計画どおり・計画どおり進んでいない) 1 理由・予定を上回る数の団体と協定締結が実現した。			
	成果に対する評価(大・中・小又はなし) 1 理由・歯科医師会・薬剤師会との協定締結により、総合防災訓練への参加や、災害医療運営連絡会発足につながった。			
	効率性・経済性に対する評価(高・中・低) 1 理由・災害時の企業や団体との連携が深まり、被害の拡大防止や市民生活の安定につながる。			
	総合評価:今後、さらに協定に基づく災害時応援の効果が上がるよう、協定締結の各団体と具体的方策を検討していくことが必要。			
	事業事前審査会事後評価 進捗状況評価(計画どおり<計画以上進捗を含む>・ほぼ計画どおり・計画どおり進んでいない) 理由・			
	成果に対する評価(大・中・小又はなし) 理由・			
	効率性・経済性に対する評価(高・中・低) 理由・			
	総合評価	平成14年度は目標以上の団体と協定締結が実現できており、平成15年度目標値の見直しが望まれる。		

事業	207	事業名	地域団体及び各種活動団体との連携	部内管理
----	-----	-----	------------------	------

(事業コード)	205207	(部課コード)	205
評価対象事業名	地域団体及び各種活動団体との連携	部課係名	総務部 防災課(局・室)
基本計画の掲載	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし 130ページ掲載	記入者名	大倉 誠 内線2283
計画体系	第3部第4・4-(2)-2 3400422	歳出科目	一般会計 款:9 項:1
計画事業名	地域団体及び各種活動団体との連携	(款・項・目・事項)	目:4 事項:2・3・6
計画体系	第 部第 . -()-	補助区分	<input type="checkbox"/> 国補助 <input type="checkbox"/> 都補助 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独
計画事業名		関連計画	三鷹市地域防災計画
計画体系	第 部第 . -()-	関係法規	
計画事業名			
事業の目的<対象(何を、誰を対象に) 意図(対象をどういう状態にしたいのか)> (対象) 地域団体及び各種活動団体 (意図) 大地震等災害発生時に、市の災害対策に協力してもらう。			
事業の概要・期間 <input type="checkbox"/> 単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 複数年(始期: 2002年度 ~ 終期: 2010年度) 日頃様々な目的により地域で活動している団体の組織力や地域性は、災害時には大きな力になることから、これらの団体と連携し防災コミュニティの形成を図る。			
当該事務に従事する実質職員数			0.5人
今年度の事業・業務量の説明 国際交流協会との連携のための検討会を開催し、特に災害弱者と言われている外国人に対する防災対策など協力内容について検討する。			
今年度のまちづくり指標の説明 地域団体等と協力内容などについてパートナーシップ協定(仮称)の締結に向け取り組みを行う団体数を協働指標とし、今年度は1団体とする。			
今後「市民満足度」を評価するため、別途調査等を行う必要があるまちづくり指標			
他団体の先進的な取り組み成果・参考実績値			

事業	207	事業名	地域団体及び各種活動団体との連携	部内管理
----	-----	-----	------------------	------

(事業コード)	205207		(部課コード)	205	
評価対象事業名	地域団体及び各種活動団体との連携		部課係名	総務部	防災課(局・室)
年度別明細	H12年度	H13年度	H14年度事前	H14年度達成	
事業・業務量			パートナーシップ協定締結のための検討	パートナーシップ協定締結のための検討	
まちづくり指標 行政指標 協働指標			新たに1団体とのパートナーシップ協定締結のための検討	新たに1団体とのパートナーシップ協定締結のための検討	
予算額(千円)	0	0	0	0	
決算額(千円)	0	0		0	
執行率(%)					

年間の実施スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
当初計画	協定等締結の検討											
結果	協定等締結の検討											

変更計画の説明

事後評価	主管課事後評価 進捗状況評価 (計画どおり<計画以上進捗を含む>・ ほぼ計画どおり・ 計画どおり進んでいない)	1
	理由・国際交流協会と、月1回の頻度で、協定締結のための検討会を開催した。	
	成果に対する評価 (大・ 中・ 小又はなし)	2
	理由・課題であった災害時の外国人対策について、国際交流協会との連携体制の足がかりができた	
	効率性・経済性に対する評価 (高・ 中・ 低)	2
	理由・現状では、効率性・経済性まで踏み込んだ検討はしていない	
	総合評価：来年度に今年度の成果を土台に具体的な災害時の外国人対策を構築のうえ、国際交流協会と協定締結を行うことにより、効果がさらに拡大する。	
事後評価	事業事前審査会事後評価 進捗状況評価 (計画どおり<計画以上進捗を含む>・ ほぼ計画どおり・ 計画どおり進んでいない)	1
	理由・	
	成果に対する評価 (大・ 中・ 小又はなし)	2
	理由・	
	効率性・経済性に対する評価 (高・ 中・ 低)	2
	理由・	
	総合評価 平成14年度の検討の成果を活かして、平成15年度のパートナーシップ協定の締結に取り組む必要がある。	

事業	208	事業名	職員の危機管理能力及び防災行動力の向上	部内管理
----	-----	-----	---------------------	------

(事業コード)	205208	(部課コード)	205
評価対象事業名	職員の危機管理能力及び防災行動力の向上	部課係名	総務部 防災課(局・室)
基本計画の掲載	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし 131ページ掲載	記入者名	大倉 誠 内線2283
計画体系	第3部第4・5-(1)-3 3400513	歳出科目	一般会計 款:9 項:1
計画事業名	職員の危機管理能力及び防災行動力の向上	(款・項・目・事項)	目:4 事項:3
計画体系	第 部第 . -()-	補助区分	<input type="checkbox"/> 国補助 <input type="checkbox"/> 都補助 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独
計画事業名		関連計画	三鷹市地域防災計画
計画体系	第 部第 . -()-	関係法規	
計画事業名			

事業の目的< 対象(何を、誰を対象に) 意図(対象をどういう状態にしたいのか)>

(対象)
市職員

(意図)

大地震等災害発生時に迅速かつ確かな防災行動が取れるようにする

事業の概要・期間

単年度

複数年度(始期: 2002年度 ~ 終期: 2010年度)

危機管理体制の強化策として危機に強い人づくりを行うこととし、職員に対し、図上訓練の実施、救命技能資格の取得など実践的なトレーニングを行うほか、防災ポケットメモの配付などにより、職員一人ひとりが災害時に迅速かつ確かな行動が取れるよう能力向上に取り組む。

当該事務に従事する実質職員数

0.5人

今年度の事業・業務量の説明

防災ポケットメモを作成し全職員に配付する。

今年度のまちづくり指標の説明

防災ポケットメモを作成し全職員に配付する。

今後「市民満足度」を評価するため、別途調査等を行う必要があるまちづくり指標

他団体の先進的な取り組み成果・参考実績値

年度別明細	H12年度	H13年度	H14年度事前	H14年度達成
事業・業務量			防災ポケットメモの作成と全職員への配付	防災ポケットメモの作成と全職員への配付
まちづくり指標 行政指標 協働指標			防災ポケットメモの作成と全職員への配付	防災ポケットメモの作成と全職員への配付
予算額(千円)	0	0	394	394
決算額(千円)	0	0		362
執行率(%)				91.9%

年間の実施スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
当初計画							防災ポケットメモの作成					配付
結果							防災ポケットメモの作成					配付

変更計画の説明

事業	208	事業名	職員の危機管理能力及び防災行動力の向上	部内管理
----	-----	-----	---------------------	------

(事業コード)	205208 (部課コード)		205	
評価対象事業名	職員の危機管理能力及び防災行動力の向上		部課係名	総務部 防災課 (局・室)
事後評価	主管課事後評価 進捗状況評価 (計画どおり<計画以上進捗を含む>・ ほぼ計画どおり・ 計画どおり進んでいない) 2 理由・レイアウトなど読みやすさについての検討の時間が不足した。			
	成果に対する評価 (大・ 中・ 小又はなし) 1 理由・発災時の行動方法に加えて、訓練で課題となった非常参集時の初動活動方法についても周知した。			
	効率性・経済性に対する評価 (高・ 中・ 低) 1 理由・職員の発災時の迅速な行動が期待できる			
	総合評価:発災から初動活動までの行動マニュアルとして作成した。職員が熟読し、各自が災害時に備えておくことにより、災害時に効果が期待できる。			
	事業事前審査会事後評価 進捗状況評価 (計画どおり<計画以上進捗を含む>・ ほぼ計画どおり・ 計画どおり進んでいない) [] 理由:			
	成果に対する評価 (大・ 中・ 小又はなし) [] 理由: 発災から初動活動までの行動マニュアルとして防災ポケットメモを作成したこと自体は優れた取り組みといえるが、それを職員が熟読し、非常参集時の初動活動方法等についても十分な理解が図られたかは不明である。			
	効率性・経済性に対する評価 (高・ 中・ 低) [] 理由:			
	総合評価 職員が防災ポケットメモを携帯し、有効に活用しているか検証する必要がある。			

事業	209	事業名	消防団詰所の整備	部内管理
----	-----	-----	----------	------

(事業コード)	205209 (部課コード)		205	
評価対象事業名	消防団詰所の整備		部課係名	総務部 防災課 (局・室)
基本計画の掲載	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	1 3 2 ページ掲載	記入者名	大倉 誠 内線2283
計画体系	第3部第 4・3-(2)-1	3400321	歳出科目	一般会計 款: 9 項: 1
計画事業名	消防団詰所の整備		(款・項・目・事項)	目: 3 事項: 3
計画体系	第 部第 ・ -()-		補助区分	<input type="checkbox"/> 国補助 <input type="checkbox"/> 都補助 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独
計画事業名			関連計画	三鷹市地域防災計画
計画体系	第 部第 ・ -()-		関係法規	
計画事業名				
事業の目的< 対象(何を、誰を対象に) 意図(対象をどういう状態にしたいのか)> (対象) 消防団詰所 (意図) 建替え、耐震化を図る				
事業の概要・期間 <input type="checkbox"/> 単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 複数年 (始期: 2002年度 ~ 終期: 2010年度) 地域防災の要として期待されている消防団のつち、第2分団の詰所を移転し、建替える				
当該事務に従事する実質職員数				0.5 人
今年度の事業・業務量の説明 詰所用地取得及び建物設計を行ったうえ建替え工事を行う				
今年度のまちづくり指標の説明 建替えにより、10箇分団詰所のうち1箇所を耐震化することで、6箇分団の耐震化が完了し、耐震化率60%となる。				
今後「市民満足度」を評価するため、別途調査等を行う必要があるまちづくり指標				
他団体の先進的な取り組み成果・参考実績値				

事業	209	事業名	消防団詰所の整備	部内管理
----	-----	-----	----------	------

		205209 (部課コード)		205								
消防団詰所の整備		部課係名		総務部 防災課 (局・室)								
年度別明細	H12年度	H13年度	H14年度事前	H14年度達成								
事業・業務量			用地取得・建物設計・建替え工事	第二分団用地取得・建物設計・建替え工事								
まちづくり指標 行政指標 協働指標			建替えにより消防団詰所の耐震化率を60%とする	建替えにより消防団詰所の耐震化率が60%となった								
予算額(千円)	0	0	133,290	131,101								
決算額(千円)	0	0		125,394								
執行率(%)				95.6%								
年間の実施スケジュール												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
当初計画	用地取得	建物設計			建替え工事							移転作業
結果	用地取得	建物設計			建替え工事							移転作業
変更計画の説明												
事後評価	主管課事後評価 進捗状況評価 (計画どおり<計画以上進捗を含む>・ ほぼ計画どおり・ 計画どおり進んでいない) 1 理由・防災課、まちづくり建築課、第二分団とのスムーズな連携により過密なスケジュールであったが計画どおり進んだ。											
	成果に対する評価 (大・中・小又はなし) 1 理由・耐震化により、詰所の耐震化率が10ポイント上昇した											
	効率性・経済性に対する評価 (高・中・低) 1 理由・今まで消防団活動を行ってきた分団の意見を大部分取り入れ設計したため使用しやすいものとなっている											
	総合評価:災害時の応急活動において、地域の核となる消防団の詰所の耐震化が実現した意義は大きい。今後も耐震化を推進していく必要がある。											
	事業事前審査会事後評価 進捗状況評価 (計画どおり<計画以上進捗を含む>・ ほぼ計画どおり・ 計画どおり進んでいない) 理由・											
	成果に対する評価 (大・中・小又はなし) 理由・											
	効率性・経済性に対する評価 (高・中・低) 理由・											
	総合評価 消防施設整備の優先順位を明確にした上で、耐震化の取り組みを進めることが望ましい。											